

# 儒門思問錄

下之二

			二	和
		一	四	書
	三	六	一	門
四	册	四	三	類
	架	函	四	

庫	文	閣	內
九	四		和
〇	一		書
函	三		類
一	四		
三	册		
架	號		

內閣文庫	
番號	和 24134
冊數	4 ( 4 )
函號	190 277



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





儒門思問錄卷第二下目錄

湯武受命欤放弑欤

文王事紂武王伐紂

周公踐天子位 召公不悅

成王剪桐封弟 綸言如汗

成王賜魯以天子禮樂 史角往魯

平王不仇申侯

輒拒蒯賁 雋不疑





神聖無疆

平定天下

武王受命

文王受命

周公受命

孔子受命

目錄終

儒門思問錄卷下之二

淺草文庫  
羅山林道春撰

問云文王十三年後、ナヲ崩ホクセス、ハ必カナラ紂チウヲ伐ツクヘシ、又武  
王始兵ヲス、ナレ此、ハ兩事未夕疑ツクアリ、如何答云、朱  
子曰、文王事紂、惟知以臣事君、而不見其他、茲其所以  
為至德也、若謂ハ二分天下、紂尚有其一、未忍輕去臣位、  
以商之先主德澤未タ厶、曆數未終、紂惡未甚、聖人若之、  
何取之、則是文王之事、紂非其本心、蓋有不得已耳、若  
是則安得謂之至德哉、至於武王之伐、紂觀政于商、亦  
豈有取之心、惟紂罔有殺心、武王灼見天命、人心之啟、  
已不得不順而應之、故曰、予弗順天厥罪、惟鈞以此觀、

儒門思問錄卷下之二



之足見武王之伐紂順乎天應乎人無可疑矣此處有不容毫髮之差天理人欲王道霸術之所以分其端特在於此又曰文武無伐紂之心而天與之人旣之其勢必誅紂而後已故有肅將天威大勳未集之語但紂罪未盈天命未絕故文王獨得以三分之二而服事殷若使文王未崩十二三年紂惡不悛天命已絕則盟津之事文王亦豈得而辭哉以此見文武之心未嘗不同皆無私意視天與人而已伊川先生謂無觀兵之事非深見文武之心不能及此非為存名教而發也若有心於存名教而於事實有所改易則夫子之錄泰誓武成其不存名教甚矣近世有存名教之說大為害事將聖人

心迹都做兩截看了殊不知聖人所行便是名教若所行如此而所教如彼則非所以為聖人矣今問十コロノ兩事朱子ノ論明白ナリ又蔡氏力書傳三毛見ヘタリ問云史記云紂走及入登于鹿臺之上蒙衣其珠玉自燔于火而死武王遂入至紂死所武王自射之三發而後下軍以輕劍擊之以黃鉞斬紂頭懸太白之旗已而至紂之嬖妾二女二女皆經自殺武王又射三發擊以劍斬以玄鉞懸其頭小白之旗又殷本紀云武王斬紂頭懸之白旗殺姐已ナリ此ノ事アヤレリ紂戰ケテ自ヤケテ死ルハアルヘレ武王其頭ヲキリテ旗ヲクルハアルハラストイフ説アリ如何答云方正學力説ニ



八牧野ノ戦ハ武王ノ本意ニテラスヤムイヲエス聖人ノ不幸也武成篇ニ其時ノ事ヲシルセリ紂カ死ルヲシルサル  
一ハ武王ノ為ニイムナルヘシ史記ニ紂自ヤケテ死スト云ハ  
サモアルヘシ紂モトヨリ武王ノアタカタキニアラス民ヲス  
クハシ為ニ紂ヲウツ也紂モシ悪ヲ改メテ善ニウツラハ武王  
何ソ兵ヲイタサヤモシ又紂死スメ降ラハ武王必百里ノ  
國ヲ與ヘテ湯王ノ祭ヲツカレメン必殺スヘカラス紂スニ死  
スレカルヲ武王其死セル屍ヲ射又其頭ヲ斬テ旗ニカク  
トイフハ信スルニタラス此レ戦國ノ時ノ人ノ妄言也司馬遷  
是ヲトリテ史記ニシルセルハアヤマリ也武王其時紂カ死  
ルヲ見テ定テ悲嘆スヘシ或ハ殷ノ群臣ニ命メ礼義ヲ

以テ紂ヲ葬ラレムヘシ武王何ソ其既ニ死セル人ヲ射テ  
其頭ヲ斬ルヘケンヤ問云此ノ事別ニ又ヨリ所アリヤ荅  
云楊升菴曰賈子言紂死棄王門之外觀者皆進蹴之  
武王使人惟而守之猶不止也此近事實太史公輕信  
汲冢書故有此說大明ノ楊升菴此ノ事ツイテ賈子  
カ書ヲ引テイフヤウハ紂死メ王門ノ外ニ棄ラル觀者ニ  
クミニテ其屍骸ヲ踏ム武王忍ヒスレテ人ヲ遣ハメカタ  
ヒラハリテ是ヲモラレムナヲ觀者ヤムナレト云リケニ  
サルコアルヘシ紂カ頭ヲ斬ルト云コハ汲冢書ニアリ偽  
泰誓并ニ竹書紀年ノ類ヒナリ司馬遷此レヲ實ト  
思テシルセルハアヤマリナルヘシ問云姐已ヲ殺ストハタ



レテシカリヤ答云姐已ハ紂ヲ二ヨハセル女也又紂ニスハメ  
テ悪ヲセシムル者ナリ其時死ナスハ武王此レヲ殺スヘ  
シモレ自ラクヒレテ死ナハ又必シモ其頭ヲハスルニ及フ  
ヘカラス問云世ニイヒ傳ルハ姐已死テ化メ九尾ノ狐ト  
トリテ天ニ上ラントス太公此レヲ見テ符ヲ以テ狐ヲ落  
ストイヘリ尤恠異也如何答云此ノ事妖妄ナリイフニ  
タラス列國傳全相漢書通俗演義三國志西遊記十  
トノ類ヒ皆紀傳ニナキコトヲ本説ト取合セテイヘリ  
日本ニテウタヒニヒセツキヤウナトノイフカ如シ姐已カ  
狐ト化スルハ列國傳ニアリトカヤ其偽リハ辨スルニ  
及ハス問云林子曰或者以為武王既殺商受何不遜其

位於微子啓而白其心於天下萬世哉是内不足以自  
信恐人之議已者之言也盖未達天命曆數之微矣故  
堯舜之禪讓天之與賢也湯武之放伐亦天之與賢也  
ト云ヘリ如何答云微子賢ナリ武王天下ヲ與ヘハ武王  
ノ私ナキ心アラハルヘレト云ハ一旦イハレアルトナリ然レ  
トモサヤウニハアラス天下微子ニ飯スメ武王ニ飯ス武王何  
ソ辞退スルヲ得ンヤコレ天命曆數ノハカレサルトコトナ  
リ舜禹ノユツリテウクルモ湯王武王ノ征伐モ皆天ヨリ  
賢ニ與ルナリトスヘレ武王自タスメ微子ヲ立ハヨロシカ  
ランカト疑フハ常ノ人ノ心ヲ以テ聖人ヲウカフ聖人ハ  
私ナレ子ニアタヘテヨキトキハ子ニアタヘ賢ニユツリテヨ



キトキハ賢ニツル我カ私ナキトコロ則天命ナリヨノツ子  
ノウタカヒヲサクルナシ

問云禮記明堂位云周公朝諸侯于明堂之位天子負  
斧依南鄉而立鄭玄カ註天子ハ周公ヲ云ナリ斧依  
ハ縱横ハ尺斧ノカタチヲ繪ク今ノ屏風ノ類也周  
公果メ天子トナル歟答云周公ハ文王ノ子武王ノ弟成  
王ノ叔父ナリモトヨリ聖人ナリ武王崩メ成王イトケ  
ナシ成王ニカハリテ攝政スイマタ天子ノ位ニ即テ聞ス  
尚書ヲ以テ證セハ明堂位ノアヤナリヲ知ヘシ賴東坡  
曰成王幼不能為政周公執其權以王命賞罰天下是  
周公不得已者如此而已今儒者曰周公踐天子之位

稱王而朝諸侯則是豈不可以已耶書曰周公位冢宰  
正百土群叔流言又曰召公為保周公為師相成王為  
左右召公不悅又曰周公王若曰則是周公未嘗踐天  
子之位而稱王也周公稱王則成王宜何稱將亦稱王  
耶不稱則是廢也稱王則是二王也而周公何以安之  
又吳氏曰書所謂位冢宰正百土與詩所謂攝政皆在  
成王諒陰之時非以幼冲而攝也其攝亦不過位冢宰  
之位而已亦非如荀卿所謂攝天子位之事也三季之  
喪二十五月而畢方其畢時周公固未嘗攝亦非有七  
年而後遷政之事也百官總已以聽冢宰在殷之高宗  
已然豈特周公行之哉此皆論周公者所當先知コレ



等ノ説ヲ見レハ冢宰ニ位スト云ヒ攝政ト云フ周公イマタ  
天子ノ位ヲフマス其攝政モ武王三年ノ喪ノ間ニ成王  
ニ代テ攝政スルナリ七年已後ニ政ヲ成王ニ還スト云モ  
疑ハレ問云レカラハ則明堂位ノ説僻事欤答云秦始  
皇書ヲ焚テ後古ノ禮經紛乱ス漢儒トリアツメテ書  
セル故ニ禮記内ニハ古ノ格言モアリ又漢儒ノ説モ混雜  
セリ周公天子トナリ祿ヲ踐ト云ハ礼記ニアリトイヘト  
モ詩書ノ説ニタカヘハ誤ナリト知ヘレ問云周公政ヲ成  
王ニ還スト云ハ尚書ノ復辟ト同事ナラスヤ答云復辟  
ハキニカヘストヨムトキハ重祿ノ義ナリ漢儒ノ説也辟  
ハ君ナリ成王ヲ指スキニマウストヨムトキハ君ニコタフ

ルノ義ナリ政ヲ還スヲ云ニアラス蔡氏カ書傳ニ見タリ  
七年ニマ政ヲ成王ニ還スト云ハ史記ニ書セリ下南湖  
曰信斯言也則周公前此六年豈未嘗北面爲臣乎斯  
言不出於金縢洛誥諸篇而獨出於遷史吾不之信也  
問云日本ニテ天子幼少ノ時大臣政ヲスルヲ攝政トス  
周公ノ例ナリ推古帝ノ時聖德太子始テ攝政ス又天  
子年長テ大臣政ヲスルヲ関白トス関白ハアツカリマウ  
ストヨメリ漢ノ霍光カ例也清和帝ノ時忠仁公関白  
タリ此事然リヤ答云関白イヲハハラクサレヲク聖  
德攝政ノハ推古女王ナル故ニ政ヲ授セリ余弱冠ノ  
時説法明眼論ヲ見ルニ聖德太子ノ作ナリト云ヘリ其

書明眼論下之三



真偽ツミヒラカナラストイヘトモ其中ニ太子ミツカラ朕ト  
稱スルイアリ秦ヨリ以来帝ニアラスハ朕ト稱セス太  
子朕ト稱スルハ周公天子トナルト思テ其攝政ノ例ヲ  
ウケテ云ヘルカ僻事也漢ノ王莽カ自攝政ノ已周公  
ノコトトホコレルタメシナキニアラス戒ムヘキナリ問云  
召公不悦ト云ハ何謂ト答云成王ノ時周公召公  
左右ノ大臣タリ是ノ時召公不悦ト分カリ尚書序書  
メ其故ヲシルサス漢儒ノ説ニ召公ノ周公ヲウタカヘル  
アルヘシト云聖賢ヲ誣タリ周公ハ聖人ナリ召公ハ大  
賢也其際何ノ疑カ有レ王荆公カ説ニ成王ハ善ヲモ  
スヘキ人也悪ヲモスヘキ人也其年ヤ、タケテ政ヲスルト

キニ周公出スルハ成王ノ政ニシヨタラシトテ恐テ召公不  
悦ト云リ程子ノ説ニ召公爲保保ハ君ヲヤスレシタ  
モツ義ニテ周ノ世ノ大臣ヲ大保ト云召公此位ニ居テ其  
職ヲヤスレシトテ大事トシテ故ニ不悦トイヘリ朱子ノ  
説ニ成王ステニ政ヲス周公コレヲタスク召公ツリテ去  
レトス故ニ不悦ト云或ハ周公政ヲ還メ後ニトニリヲル  
ヘカラス召公モ年老タリトモニ退キ去ヘシトシテモヘリ故ニ  
不悦ト云ナリコレヨリテ周公書ヲ作テ君奭ト名ク  
周公召公二人トモニ去ルヘカラス同クトニリテ成王ヲ  
輔佐スヘキ本意ヲアラハシテ召公ニ告タリ委ク尚  
書君奭ノ篇ニ見タリ今ヲモフニ荆公カ説ノコトクニ



ハ其居ヲ愛スルノ志子シコロナルハ召公ノ忠ナリ程子ノ  
説ノコトクハバ久ク三公トナリテ其官位ヲタモキカ  
タキ一ヲオモハカルハ召公ノ謙ナリ朱子ノ説ノコトク  
ハ其周公ニユツリテ去ント云ハ召公ノ礼ナリ又其老  
位ヲカレ身ヲ全セントスルハ召公ノ智ナリ此四ノ説三  
ナステカタレヨクコトヲツケテヲモフヘク問云史記ニ云  
只ハ周公國ニアタリテ位ヲフム一ヲ召公疑テ不悦ト云  
孔穎達ハ周公ハレメ攝政シ今成王位ニツクトキハ周公  
却テ臣トナル召公コレヲウタカフト云此等ノ説皆非欤  
答云史記モ穎達モ召公不悦ノ字ヲ見誤テ明ニ察セ  
ス此説ヲ云ヘリツラク君與ノ全篇ヲヨムトキハ朱子

ノ説ノコトクナリ史記并ニ穎達カ説ノコトクニアラスコ  
ノミナラス書ノ本經ト小序ト違背スルトスクナカラ  
ス召公ハ周ノ同姓ナリ召伯トモ申ス  
問云説苑云成王與唐叔虞燕居剪梧桐葉以爲圭而  
授唐叔虞曰余以此封汝唐叔虞喜以告周公周公以  
請曰天子封唐叔耶成王曰余與虞戲也周公對曰天子  
無戲言言則史書之工誦之士稱之於是遂封唐叔虞  
於晉周公且可謂善説矣此事アリヤ答云成王ハ武  
王ノ子ナリ唐叔虞ハ成王ノ弟ナリ武王崩御メ成  
王即位ス時ニ年十三歳ナリ成王ノ叔父周公且攝  
政ス凡ソ諸侯ヲ國ニ封スルトキハ圭ヲタマワリテ驗トス



圭ハ玉ノ名ナリ四角ニメ長サ九寸八寸七寸以下ノ品アリ  
國ノ大小ヨリ位ノ高下ヨリテ圭ニ大小長短アルナリ成  
王即位ノ後五年唐叔ト遊フトキ梧桐ノ葉ヲ刻ニ  
テ圭ノ形ノコトクニシ唐叔ニ與テ爾チヲ國ニ封スト云唐  
叔悦ヒテ周公ニ語ル周公賀メ王今唐叔ヲ封スルヤト云  
王聞テコレ戲ナリト云周公天子ハ戲言ナレ一言出ルト  
キハレルレテ法トスト申テ唐叔ヲ晉國ニ封ス問云史  
記ニモ此事アリ然レトモ史佚カスルトコロナリ周公ノ  
泌汰ナシ周公トセシカ史佚トセシカ答云史記ハ司馬  
遷カ作ナリ說苑ハ刘向カ作ナリ刘向ハ司馬遷ヨリ  
モ後ノ人ナリ古来ヨリ此兩說アルコトナリ史佚ハ武王

ノ時ノ太史官ニメ成王ノ時ニテイタル人ナリ問云唐柳  
子厚此事ヲ辨メ云成王ノ弟國ニ封メヨキ時分ナラハ  
周公申テ封スヘシ何ソ其戲ヲ待ンヤ王ノ弟イマタ封  
スヘキ時至ラスハ必封スヘカラス周公何ソ其ヨカラヌ戲  
ヲタテ、大國ヲ以テイトケナキ人ニ与ヘテ國君トセシヤ  
周公ハ大聖人ナリ聖人カヤウコトヲスヘカラス周公  
政ヲカ子行フ成王ノ過チナク卒尔ナキヤウニスヘシ必其  
遊ヒ戲ル、カリソメノ一ヲ必實トナスヘカラス成王若不  
慮ニ桐葉ヲ切テ婦人小臣ニ與ヘテ戲ニ國ヲ授クトイハ、  
コレヲモコト、セシヤ道理ニ當ラヌ一ヲハ五度モ十度モ  
改メテモクルシカラス道理ニ當ラハ改ムヘカラス况ヤ其



戯レヤ若道理ニ當ラヌ戯ヲ必行ハ、王ヲシテ過チラ  
ナサシムルナリ周公必スヘカラス周公ノ王ヲモリ多ク  
ハ道ヲ教ヘ理ニ叶フヤウニスヘシ必其戯ヲ誠トシラシツ  
ケテ行ハシメシヤ况ヤ君臣ノ間ヲ成王六君ナリ周  
公ハ臣ナリ臣トメ理不盡ニ君ヲ我云マニセシヤ此事ハ  
周公ノ必スヘカラサルナリトイヘリイカシ答云柳子厚  
説誠ニイハレアリサレトモ李光縉カ説ニ此事説苑ニ周  
公ナリトイヘトモ史記ニ史佚ナリト云テ周公トハス天  
子ハ戯ルヘカラスト云ハ史佚カ詞ナルヘシタトヒモシ周公  
ノシワサナリトストモクルシカラス此トキ唐叔ステニ國  
ニ封セラルヘキ年齢ナリ玉タトヒ戯レストモ周公申ス

ヘキ時分ナリ故ニ其戯ヲソタテ、行フ何ソ僻事トセ  
シヤ柳子厚カ辨ハ餘リニ甚シキナリトイヘリ又丁南  
湖説ニ唐叔幼稚ナリトモ國ヲ授ケテ諸侯トスヘシ成王  
ノ政ヲ周公カ子行ヒ史佚カ徒ヲタスヘキ何ノ過チカ  
アラシ吏ヲシテ國ヲ治メシムルハ上古ヨリノヨキ法ナリ  
吏ハ天子ヨリツカハストコロノ奉行代官ナリ唐叔國ヲ  
受ケテ幼間ハ吏其國ヲ治ムヘシ問云袁了凡云柳子厚  
曰周公乃成其不中之戲是教王遂過也孟母買豕肉  
啖子欲示之無誑而東萊先生曰下誑成兩誑最是人  
小人之徑路此兩論極精嚴此義如何答云戯シニ過テ  
ルハアサムクナリアサムクトハタラスモ口也其戯セラ即チ



行ハシムルハ又アサムクナリタトハ孟子鄰家ノ豕ヲ殺ス  
ヲ何ノタメソト問時ニ母コレハ尔チニクシラハシメシタメナリ  
ト云サテ又母思フヤウハ子ヲタラスハイツハリヲ教ルナ  
リトテ別ニ豕ノ肉ヲ買テ孟子ニクハシムルカコトキノタ  
クヒハ一ツノアサムク一タチマチフタツノアサムク一ニナ  
ルカクノコトクヨロツニナリモテチカハイツハリ多クメ小  
人トナラシトイヘル東萊カ説ナリ此説ニ從ハ過チラハ  
ヤクアラタムヘシフタヒスヘカラス戯スハ當座ニサシラク  
シコトスヘカラス問云天子畢竟戯ルヘカラスルカ答云  
詩衛風云善戲謔兮不為虐セキヤクトイヘリ論語孔子モ戲  
ル一アリ聖人モ戲レアリ天子ト云トモ何ソ戯レナカラシヤ

然レトモ張子カ東銘云戲言出於思也戲動作於謀也  
戲レニ云一ナレトモ思念ヨリ出テロニアラハル戯レニスル一  
ナレトモ謀ヨリヲコリテ形ニ動ク皆心ヨリナス一ナリ戯レ  
ハカリソメイナリト思ヒテツシニサルハ人ノ惑ヒナリ問  
云礼記ニ玉言コト如絲其出如綸トアルハワゲタル糸ヲ引  
出セハ又モトノコトクニイレカタシ帝王ノ一言出ハアラタ  
ムル一ナキニタトヘテ勅命ヲ綸言トス刻向封事言號令  
如汗汗出而不及者也今出令而及之是及汗也サレハ  
古人ノ狂哥ニカクハカリタラサセタマフ綸言ノアセユト  
クニナトナカルラシトヨミテ玉ヲソレレリ然レハ天子ハ戲  
言ナレト云ヘキカ答云一言出テ善惡ニツキトリカヘシ

需月恩明録下之三十一



カタキ一ヲ<sup>緘</sup>ニタトハ汗ニタトフルハ何ユヘソト云ニイマタ  
イヒ出サ、ルサキニヨク思案メ後悔ナキヤウニセシ  
メシタメナリ又號令ハ下知法度ノ定メナリステニ定  
メタル仰ヲハアラタムヘカラス人ニ信セサセシカタメナ  
リヨシヲ<sup>綸</sup>言汗ノコトト云ナリ天下ニラレテ定メタル  
ヲヤカテ違變セハ後日ノ號令誰カ誠トセシヤコレヲ  
天子ハ戯ルヘカラスト云ナリ若又内ニイハ當座ノ戯  
レナシト云ヘカラス一タヒ張リ一タヒ弛スハ文王武王ノ  
道也正クサタニル法ハ張ナリユカニヤハラクハ弛スナリ  
文王武王周公其道一ナリ周公イカテカ張ハカリニ  
弛スナカラシヤイカテカ似合サル戯ラタテ、スクニ行

ヤ問云一誑成<sup>兩誑</sup>ト云一如何答云コレハ周公ト孟母  
トカ心ヲ云ニアラス常ノ人ノ周公孟母ノ心ナクメ周公  
孟母イラマ子ハ戯レヲ誠ノイトレアサムクウヘニ又イツハ  
リテ惡事トナルハテノハ必小人ノ道ニシモムクナリ東  
萊カ論ツ子ノ人ヲ戒メシタメナリ周公孟母ヲサスニハ  
アラス

問云礼記明堂位云成王以周公<sup>為</sup>有勳勞於天下是以  
封周公於曲阜地方七百里革車千乘命魯公<sup>世</sup>世祀  
周公以天子之礼樂此如何答云周公大功アルヲ以テ  
成王魯公命メ天子ノ礼樂ヲ以テ周公ヲ祀ラシム魯公  
ハ周公ノ伯禽ナリ周公ヲ封スル曲阜ノ地方七百里



ヲ以テス曲阜ハ即魯國ナリ周公ハ止テ成王ヲタスク  
伯禽ヲメ魯ニユカシム故ニ伯禽ヲ稱メ魯公トス魯國  
諸侯ニ天子ノ禮樂祭礼ヲ用ルヘキ非礼ナリ故ニ程子曰  
周公之功固大矣皆臣子之分所當爲魯安得獨用天  
子禮樂哉成王之賜伯禽之受皆非也周公ノ勲功大ナ  
リトイヘトモ臣トメスヘキ道理ナリ理ノ外ニアラスイカ  
ソ天子ノ子ヲセシヤ成王ノ賜リタルモ非ナリ魯公カ  
受タルモ又非ナリ周公存生ノ時ニハ必天子ノ禮樂ヲ  
ヲウクヘカラス成王過リテ賜リ魯公過リテ受テタル  
ニ後世ノ魯君非礼ノ祀ヲナシ其臣季氏カ類弥ヲ  
ゴリテ非礼ヲスルナリ問云然ラハアラタメテ可ナラシ

カ答云或人問魯之郊祭自成王之賜伯禽之受不是  
了後世子孫合如何而改朱子曰時王之命如何敢改  
曰恐不可自改則當請命於天王而改之否曰是トア  
リ此事非ナラズ後世ノ魯君アラタムヘキヤト問時ニ朱  
子答テ時ノ王ノ賜レル勅命ナリ如何ソヤヌクアラ  
タメンヤト云又問自ラ改メカタクハ天子ニ申テ改ムヘキ  
ヤト云シヨレト答ヘタリ問云元朝ノ儒者許謙云成  
王命魯祀周公以天子禮樂說見明堂位故魯推周公  
所自出之帝而祭文王於太廟以周公配之通鑑外紀  
謂魯惠公使宰讓請郊廟之礼於天子王使史角往魯  
公止之路史謂惠公之止之是周不與之矣不與而魯

備前府志卷之二十一

魯國志卷之二十一



用郊自用之也然則魯之郊廟皆後世之僭而附會  
明堂位之說歟不然孔子何以魯之郊禘非礼也周公  
其衰矣禘ハ先祖ノ出タル所ノ王ヲ祀ルヲ云ナリ郊ハ  
天ヲ祀ルヲ云ナリ皆天子ノ礼ニテ諸侯ノ礼ニアラス  
魯國イカテカ禘ト郊トセシヤ魯惠公カ時宰讓ヲ  
周ニツカハシテ此礼ヲ行ニテ望ム平王ユルサス勅使史  
角来テ王ノ心ヲ云フ惠公ヨロコハスメ史角ヲトメテカ  
ヘサス然レハ平王ユルサルヲ惠公自ラホシイニ此礼ヲ  
用ナリ魯ノ郊禘ハ末世ノ非礼ナリ成王伯禽ノ時  
此事アルハカラス平王サヘコレヲユルサス成王如何ノユルサ  
ニヤ外紀ト路史ト引テ明堂位ノ説ヲ信セス况ヤ

孔子モ魯郊禘ハ非礼ナリ周公衰ヘタリトクニヘリ  
周公ノ時ニ此事アルハカラサルニ後世ニアルハ周公ノ道  
衰ヘタリト云義ナラスヤイカン答云許謙カ説尤モ謂  
レリ程子ハ明堂位ヨリテ成王伯禽ノ非ナルヲ議  
ス許謙ハ明堂位ヲ疑ヒテ成王ノ時此非礼アルハカラ  
スト云リ史角カ魯ニ来ルハ外紀路史ヲ引トイヘ  
モ其出處ハ呂氏春秋ニ見タリ但又礼記祭統云成  
王康王追念周公之所以勲勞者而欲尊魯故賜之以  
重祭トアリ然レハ礼記ヲ信セカ呂氏ヲ信センカナラ  
モヨク考フキナリ問云楊外庵黃葵峯カ説ニハ魯  
國ニ天子ノ礼樂ヲ用ル尚書尙傳國語公羊穀梁等



二記サス礼記ニアリトイヘトモ是ハ漢儒ノ手ニ出タレハ  
信スヘカラス詩魯頌閟宮篇并ニ春秋ヲ見レハ魯國末  
世ニ及ミテ上ヲ犯メ天子ノ子シメ成王伯禽ノ時ヨリア  
ルナリトイヒナセリトカモナキ成王伯禽ヲ譏ルハ  
程子ノ過チナルキカト云ハ如何答云此事兼テヨリ  
思フナリ升庵カ説ハ四書披雲ニ見タリ葵峯カ説  
ハ知新日録ニ載タリ何レモ皆許謙カ説ニサカノホ  
リテ云フナリ閟宮ノ詩ハ魯ノ僖公ヲ譽タリトイ  
ヘトモ其中ニ天子ノ礼樂ヲ云フアレハイカ、侍ニ又此  
詩戎狄是膺<sup>レ</sup>荆舒是懲<sup>ス</sup>則莫我敢承<sup>テ</sup>ト云モ僖公ノ事ナ  
リ然ルヲ孟子ニハコレヲ周公イナリト云トキハ一様ニ

ツミカタシ漢ノ何休カ公羊ノ註ニ周公死有<sup>リ</sup>王礼ト云  
鄭玄亦云成王以周公功大命魯郊祭天亦配之以君  
祖后稷其牲用赤牛純色與天子同也トイヘリ此等ノ  
説アレハ礼記ノ説ニダリニヤフリカタシ周公誠ニ大功  
アレトモ人臣ノ職ナレハ餘リアリトスヘカラス周公サヘ  
天子ノ礼樂ヲ用フヘカラス况ヤソノ外ノ人ヲヤ程子ノ  
論正クメ教トスヘレ

問云史記周本紀云幽王得褒姒愛之欲廢申后并去  
太子宜臼以褒姒為后以伯服為太子申后ハ申侯カ  
ムスメナリ幽王ノ后トナリテ太子ヲ生ヌリ其名ヲ宜  
臼ト云後ニ褒姒ト云女寵愛セラレテ子ヲ生ヌリ其名



伯服ト云又曰竟廢申后及太子以褒姒為后伯服  
為太子申侯怒與緄西夷犬戎攻幽王幽王舉烽火徵  
兵兵莫至遂殺幽王驪山下虜褒姒盡取周賂而去  
於是諸侯乃即申侯而共立故幽王太子宜臼是為平  
王以奉周祀此事如何荅云周ノ幽王ハ宜王ノ子ナリ  
申侯ノムスメヲメトリテ后トシ宜臼ヲ生リ立テ太子  
トス其後褒姒ヲ愛メ又子ヲ生リ伯服ト名ツクコ  
ニオイト宜臼ト后トラステ褒姒ヲ后トシ伯服ヲ太子  
トス申侯ノ所ヘ宜臼奔テカクル幽王求レトモ出サス褒  
姒常ニ笑ヲ好ニス王笑ハシメントスレトモ笑ハス烽火ヲア  
クレハ笑フ烽火ハトフヒトヨメリノロレノコトナリ急ナル

トアハ火ヲ舉テ諸侯ノ兵ヲメス褒姒ニ笑ハシメントス  
何事ナキニ度々此火ヲアク諸侯ノ兵至リテハナシク  
歸ル褒姒大ニ笑フコレヨリ火ヲアクレトモ兵至ラス申  
侯怒ニ怒テ犬戎等トハカリテ兵ヲツコレ攻メテ王  
ヲ驪山ノフモトニ殺ス王火ヲアグレトモ諸侯ノ兵至  
テナクメ遂ニ亡ヒヌ褒姒ヲモ囚ヘテ殺ツ晋ノ文侯鄭ノ  
武公等ノ諸侯即チ申侯ト計テ宜臼ヲ立テ天子ト  
ス周平王是ナリコレヨリ周ノ德衰ヘ政廢レテ都ヲ  
東方ノ洛陽ニ移ス故ニ東周ト云ナリ問云此時王子  
餘カトアリヤ荅云幽王ヲ殺時犬戎ノ兵乱レテ鄭ノ  
桓公ヲ殺シ周ノ財寶ヲ多クカスメ取テ敗ルコレ夷



狄ノ中國ノ王ヲ殺スノ始メナリ秦ノ襄公衛ノ武公モ  
文侯トカヲ合セテ周ヲ救ヒ犬戎ヲハラヒ伯服ヲ退ク  
桓公カ子武公又兵ヲ集メテ諸侯ニ從フ劉道源曰  
汲冢紀年曰幽王死申后立平王於申虢公立王子餘  
二王並立餘為晉文侯所殺是為雋王與舊史不同コ  
ハ幽王ノ乱ニ虢公別ニ王子餘ヲ立テ天子トセントス晋  
ノ文侯コレヲ殺メ平王ヲムカヘテ立タリコレ異説ナ  
リ今尚書文侯之命篇ヲ見レハ平王殊更文侯ヲ賞  
セリ當時王ヲタスクル諸侯多シトイヘトモ文侯力忠  
功スクレタリト見タリ問云平王遣兵戍申及許ト云  
ハ申侯ト鄭ノ武公トカタメニ此兩所へ兵ヲ遣ハシ

其國ヲ守ラレム此事有ヤ荅云揚之水ノ詩ハ此事ヲ  
作レルナリ申侯ハ平王ノ仇ナリ讎ヲムクヒサルノミニア  
ラス却テ兵ヲ遣ハシテ申ヲ守ラレムルハイヨククセコ  
トナリ問云平王ノ母ハ申侯カムスナリ申侯ハ幽  
王ノシテトナリ平王ノ外祖父ナリ平王始ヨリ申侯ニ  
ヨリテ命ヲ全フレ後ニハ申侯ヨリテ位ニ即ク然レ  
ハ其恩忘ヘカラスコレヲ讎トセナイカン荅曰朱子曰  
申侯與犬戎弑幽王乃王法不赦之賊平王臣子不共  
戴天<sup>タカ</sup>之讐也今知有母而不知有父知其立已為有德  
而不知其殺父為可怨至使復讐討賊之師及為報施  
酬恩之舉則其忘親逆理而得罪於天已甚矣申侯カ



平王ヲ立タルハ私ノ小惠ナリ其幽王ヲ殺セルハ公義  
ノ亂臣ニ平王ノタメトモニ天ヲ戴カサル仇ナリ平王母  
アルヲ知テ父アルヲレラス立テモトナルヲ悦テ親  
ノ敵ヲ討テレラス申侯ヲ討ヘキ兵ヲヤメテ却テ申  
侯カ國ヲ守ラレメテ其恩ヲ報ユ父ヲ忘レ道ヲ畔ヒテ  
大罪ヲ得タリ平王ヲハ賊子ト云ヘ問云或ハ父ヲ殺ス母  
アル或ハ母ヲ殺ス父アル其子タルモノ父母ノ内何レヲ  
仇トセンヤ一方ステニ殺レタラハ其子甚々怨ムト云ト  
モ仇トレカタシ是非ニ及ハス堪忍スヘキ所ナリ申侯ハ  
平王ノ母ノ父也申侯ヲ仇トメ殺サハ平王ノ母ヲイカ  
カセンヤ答云禽獸ハ母アルヲ知テ父アルヲレラス

人ハ然ラス同母異母ヲ論セスメ兄弟ノ道ヲ全フスヘ  
シ然ラサレハ人モ禽獸ニ異ナラスト云ハ程子ノ説ニア  
ラスヤ平王ノ天子トナルニハ周ノ血脉ヲ以テナリ此  
道理ヲレラスメ父ヲ忘ルハ久倫ノ道ニアラス申侯ハ我  
父ノ敵ナリカタキ大戎ハ盜賊ナリト天下ニ觸テ大義ヲ以テ  
コレヲ誅セハ諸侯誰カ從ハサラン若然ラハ周道又ヲコ  
ラン乎王此義ヲワキマヘサルニ天下始テ衰微スルナ  
リ問云申侯ヲ殺サントキニ平王ノ母若自害セハイカ  
カセンヤ平王バカ母ヲ殺スニアラスヤ答云天下ヲタモ  
キテ母一人ヲヨクオサメテハ仕ヤウアルヘシ母若義ヲ  
レラス自害スヘカラスタトヒカナレニタベスメ自害セント



ストモ平王カ子テ其用心アラハ制止スル道モアルヘシ魯  
ノ莊公ノ母不義ナリ故ニ莊公ノ爲ニ母ヲ念フイテ嘗サ  
ルハ春秋ノ法ナリ其説云念母則忘父背本之道也故  
絶<sup>ズ</sup>文姜不<sup>レ</sup>爲<sup>セ</sup>不<sup>レ</sup>孝<sup>ト</sup>文姜ト齊侯ト討リテ桓公ヲ殺  
セリ桓公ハ莊公ノ父ナリ文姜ハ莊公ノ母ナリ子ト  
母ヲ念フハ孝ナリ然レト莊公ノ文姜ト中絶スルハ不  
孝ニアラス平王何ソ申侯ヲ仇トセサランヤ

問云衛靈公ノ太子ヲ蒯瞶ト云蒯瞶ノ子ヲ出公輒ト  
云靈公死メ後ニ父子ノ争ヒアリ此事イカン答云左  
傳并史記ヲ見ルニ靈公ノ夫人南子ト蒯瞶ト中アレク  
メ南子ヲ殺サントス夫人サトリテ告ク灵公怒ル太子

出テ宋ニ奔リ又晋行ク靈公ノ小子ヲ公子郢ト云コ  
レヲ立テ太子トセントス郢辞メキカス其後灵公死ス  
南子即チ郢ヲ立トス郢又キカスコニオイト出公輒  
ヲ立テ君トス魯ノ哀公二年ニ當テ蒯瞶故ラントス衛  
人フセイテ入レス戚ニ止ル戚ハ衛國ノ邑ノ名ナリ明年衛  
ノ石曼姑兵ヲヒキイト戚ヲ圍ムコレ父子ノ争ヒナリ問  
云公羊傳云蒯瞶為無道灵公逐蒯瞶而立輒然則輒  
之義可以立乎曰可其可奈何不以<sup>テ</sup>父命辞<sup>セ</sup>王父命<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>  
王父命辞<sup>セ</sup>父命<sup>ヲ</sup>是父之行乎子也不<sup>レ</sup>以<sup>テ</sup>家事辞<sup>セ</sup>王事<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>  
王事辞<sup>セ</sup>家事<sup>ヲ</sup>是上之行乎下也ト云蒯瞶無道ニメス  
ニ父ノタメニツイ出サレ輒ステニ立トキハ蒯瞶父タリ

皇朝月令録



ト云フトモ國ヲ取り難レ輒ハ祖父ノ命ヲ受テ位ニツケ  
 ハ父ニ讓ルヘカラス祖父ノ命ト父ノ命トイツレカ重キヤ  
 王父ノ命ヲ以テ父ノ命ヲ辞ストス王父ハ祖ナリ祖ノ命  
 ニ從テ父ノ命ニ從ハサルノ義ナリ 蒯瞶ニ從ハヌメ呉公ノ  
 命ニ從フヘシ父ノ命ノ子ニ行ハルハ靈公ノ命ノ蒯瞶ニ行  
 ハルヘキナリ 譬ヘハ君命ヲ以テ私シノラステ、上ノ命ノ  
 下ニ行ハルカコトシカクノコトクシハ祖父ノ命ハ父ノ命ヨ  
 リモ果メ重キカ答云春秋ヲトクモノ左氏公羊穀梁  
 ノ三傳アリ左氏ニハ此説ナレ公羊ニ此説アリ穀梁ニ輒  
 不受父之命受之王父也信父而辞王父則是不尊王  
 父也其弗受以尊王父也トイヘリ公羊ノ説ニ異ナラス

ノレ太子ハ國ノ本ナリ靈公南子ニ迷ヒテ太子ヲ追放ス  
 太子モ又母ニシクミレテ其身ヲ安ンセス靈公太子二人  
 共ニ罪アリ當時此事疑ハレキユヘニヤアリケン冉有子貢  
 相語リテ孔子問テ伯夷叔齊何人ソト云トキ孔子對  
 テ古ヘノ賢人仁ヲ求メテ仁ヲ得タリ何ソ怨ンヤト云ラキ  
 キテ孔子輒ヲタスケサラニテラレリ兄弟ヲ讓ルヲヨ  
 レトスルヲ以テ父子ノ争ヒノ非ナルヲサトレリ然レハ輒  
 カ父ヲフセキコハムト何ソ罪ナカラシヤ祖ノ命ト父ノ命  
 ナ何レカ重キト云ト一概ニ定メカタレ問云戻太子ハ漢  
 武帝ノ子ナリ帝ノ心ニ背ヒテ殺サル帝崩メ小子ヲ  
 立テ天子トス昭帝是ナリ霍光コレヲ輔佐ス昭帝即



位ノ五年二人ノ男アリ車ニ乘リ黄ナル旒ヲ立黄ナル  
衣裳ヲキテ内裏ニ至テ自ラ名ノリテ我ハコレ戾太子也  
戾太子死ナズト云此事奏聞ス昭帝驚キ勅メ人々  
ヲ遣シ見シラシム長安中集ニリ見ルモノ數万人アリ  
武士ニ命メ内裏ヲ警言固セシム諸人一言モ出スモノナシ時  
ニ雋不疑京兆尹タリ後レテ来テ彼男ヲ叱メカラヌ囚  
ノ人皆是非レリカタシレハラク待テト云不疑曰諸君  
何患於衛太子昔蒯瞶違命出奔輒距而不納春秋是  
之衛太子得罪先帝亡不即死今来自詣此罪人也遂  
送詔獄衛太子ハ即戾太子ナリ彼男形チ太子ニ似タ  
リト人ノイヒケレハ二世ノ子テイツハリテ太子未死ナズト

云テ出テ富貴ヲ求ントス遂ニアラハレテキラレテ市ニ  
サラサル此時不疑若春秋ノ義ヲシラスハ長安大ヒニサ  
ハクハ然レハ春秋公羊ノ說誠ニ世ノ教トナルヘキカ答  
云前漢ノ始メ春秋ヲ説クモノ大方公羊ノ說多シサレ  
トモ何休カ注ニモ輒カ蒯瞶ヲセクハ正シトイヘトモ其義  
タカカラスト云テ伯夷叔齊カトヲ引時ハ何休カ心モ推  
計ルヘシ胡傳ニ蒯瞶ハ君父ニ背キテ出奔スル罪人ナ  
リ國ヲタモツヘカラス輒モ又靈公イケル時ニタシカニ命  
ヲウケタリトモ見ヘスソノウヘ父雖不父子不可以不  
子イカンソ父ヲセカンヤ靈公モ蒯瞶モ輒モ皆罪アリ  
輒ヲタスゲテ戚ヲ困メル石曼姑モ又罪アリト云リ



ナラモ春秋大全ヲ考ヘシ

問云礼記ニ父ノ讎ニ天ヲイタカストアルハ何ト云フソ答  
云父ノ仇トハ親ノカタキナリ必カタキヲ討ヘシ殺サレ  
タル人ノ子ハ敵トモニイキテラサルヲ天ヲイタカ  
カスト云ナリ問云仇ヲ報ルモノ罪アリヤ罪ナシヤ  
官ヨリイカサハクキヤ答云父罪アリテ殺サルハ  
トキハ其子仇ヲ報ユヘカラス父罪ナクメ殺サルト  
キハ其殺シタルモノハ子ノタメニ仇ナリコレヲ報ヒハユル  
スヘシ公羊傳ニ父誅ヲウケサレハ其子仇ヲムクヒテ  
可ナリトイヘルハ父罪ナキニコロサレハ子仇ヲ討ヘシ  
父若罪アリテ誅セラレハ其子ナニ人ヲカ仇トセシヤ誅

ハ罪アリテコロサルヲ云ナリ周礼ニ人ヲ殺メ義アル  
モノヲハ仇トセシムルコトナカレト云ハワカ罪ナクメ殺  
サレハ其子義理ヲ以テカタキヲ討ヘシ後ニコロサレ  
タルモノノ子サキノ子ヲ仇トスヘカラスコレヲ仇トセハ  
官ヨリユルスヘカラス問云罪ヲ定ルハ皆律ニ載タリ  
律ニ仇ヲ報ルコトヲ赦スコトヲ載サルハ何ソヤ人ヲコ  
ロスモノヲハコロスト云ハ律ノ定レル法ナリ此事イカ  
カ侍ラシ答云仇ヲムクユルハ礼記周礼公羊傳ニ  
見タリ律ハ罪ヲ定ル法度ノ書ナリ法ヲ守ルモノ  
ハ人ヲコロスモノヲハ罪スヘシト云トイヘトモ義理ヲ以テ  
論スルトキハ親ノ敵ヲ討コトヲ赦スハ孝行ラスムル



道ナリ故ニ唐太宗ノ時王君操ト云モノ父ノ仇ヲムク  
ヒケレハ太宗感メコレヲユルサル高宗ノ時趙師舉ト云  
モノ父ノ仇ヲ報ヒケレハ高宗コレヲ赦サル又宋太宗ノ  
雍熙三年京兆府ノ甄婆兒ト云モノツノ母ノカタキヲ  
ウツ勅メ杖ニテタ、キテ赦レツカワサル是皆仇ヲ報  
ルコトヲ赦セル例ナリ問云唐則天皇后ノ時徐元慶ト云モ  
ノ父ノ仇ヲ報ユコレヲ赦サンカ罪セシカト沙汰アリシ陳  
子昂申シケルハ人ヲコロスモノヲハ古ノ今ノ定レル  
法ナリ法ヲ失ナハ、國ヲ治メカタシ元慶孝行ノ子ナリ  
我カ死ヌルコトヲカヘリニスレテ人ヲコロス然レトモ人ヲ  
殺スモノヲ赦スハ法ニアラス元慶ヲ罪ニシコナヘ其後

其家ト其塚トニシルシヲタテ、哀義シ名ヲアケシムヘシト  
云テ終ニ元慶ヲコロス此義如何答云則天モ始メ元慶  
ヲ赦サントスルトコロニ子昂カ批判ニテ時ノ人異議ナケ  
レハ元慶ヲ殺サル其後柳宗元此義ヲヤフリテ申ケル  
ハ家ト塚トニシルシヲ立ル善人ノ名ヲアラハサシタメ  
ナリ元慶既ニ善人孝子ナレハ罪ナレ何ソ罪ナキモン  
ヲコロサシヤ元慶モシ仇ヲムクユルコト非義ニシテ人ヲコ  
ロサハ罪アリテ誅セラルヘシ何ソ家ト塚トニシルシヲ  
タテ、其名ヲアラハサシヤ子昂カ申取法ヲ黷シ礼ヲヤ  
フル天下ニ示スヘカラス後代ニ傳フヘカラス元慶カタキハ趙  
師韞ト云モノナリテツカラ師韞ヲ殺レテ自來テ官ニ訟



テ此事ヲ申ス元慶孝アリ義アリ元慶カ父罪アルニ  
アラス又官ヨリコレヲコロスニアラス師韞ホレヒニトスヘテ  
殺ス元慶仇ヲムクユルハ誠ニ道理ナリユルスヘキコトナリ  
子昂カ論誤レリ今ヨリ後カヤウノコトアラハ子昂カ論  
ニ從フコトナカレト云リ問云唐玄宗ノ時張璠張琇兄弟  
二人仇ヲ報ルコトアリ兄弟共罪セラルコト委ク聞ク  
請フ答云張審素ト云モノ楊汪カタメニサヘコトナル審  
素カ子張璠張琇皆イトケナシ竊ニ都ニ來テ子ヲツテ  
楊汪ヲコロセリ此事ヲ記シ谷ニカケテ猶又楊汪カ同  
類ヲタツ子コロサントス官吏執ヘテコレヲ奏ス人皆幼フ  
レテ孝アルコトヲ感メナタメシコトヲ云宋璟張九齡此

ヲイケシト請フ時ニ裴耀卿李林甫キカス人ヲ殺スコ  
トフ停止セシタメニ法度ヲタテタリ人々各子アリ其  
志ヲ人ハ皆孝アリ彼ト此ト相互ニ仇ト共人ヲコロス  
トヤムヘカラスト申ス玄宗此義ニ從カフテ張璠張琇ヲ  
タ、キコロサシム天下アハレシヲレニスト云コトナシ此コト  
審素カ罪ハ何事ソト尋ハ楊汪カ讒言アラフルヘシ是  
ヲタ、サズシテ楊汪一人ニ璠璠二人ノ命ヲツクノフ玄宗  
ノアヤマチナリ宋璟九齡ハ君子ナリ仇ヲムクユル義理ヲ  
ヨシトス耀卿林甫ハ小人ナリ故ニ義理ヲレラス問云仇  
ヲムクセテ後ニ官ニ申スヘキカ先官ニ申メ後ニ仇ヲ討ヘ  
キカ答云此事カ子テサタメカタシ仇ヲ子ヲフモノハ



ツ子ニカクシシノフユヘニ官へ訟カタシ或ハ訟シトモキ、イシ  
サル奉行モアルヘシ或訟フヘキ縁タヨリモナキモノモアル  
ヘシモシ官ニ訟ヘテ後ニ仇ヲコロサハ勿論罪ナシユルス  
ヘシ又ムクヒテ以後ニ官ニ訟ヘハ各評定メ奏聞ヲ經テ  
時ノヨロシキヲハカリテ行スヘシ畢竟シテ其父ノコロ  
サシタルハ罪アルカ罪ナキカ私ニコロサシタルカ官ヨリコ  
ロサシタルカ此子細ヲヨクタツ子レルヘキナリ韓退之  
カ復讐ノ狀此意ナリコレヨリテ元和六年秦果ト  
云モノ梁悅カ父ヲコロス梁悅カタキヲコロシテ官ニ訟  
ヘケレハ時ノ天子憲宗其罪ヲユルシテ梁悅ヲコロサヌ  
ナカサル又穆宗ノ時康買得カ父錢ヲ張益ニカシテ行

テハタル張益酒ニ酔テ彼父ヲトラヘテヒシキコロサシト  
ス張益大カナリ買得年纔ニ十四歳父ヲタスクルコト  
叶フニシキコトヲ知テワクヘキヤウナレ鍾ヲ以テ張益カ首  
ヲウツ三日アリテ張益死ス時ノ奉行孫革ト云人コ  
レヲ批判メ買得ヲ赦セリ問云君ニツカフルモノ親ノカ  
タキニアハ、イカ、スヘキヤ答云ウタテ叶ヌハ親ノ敵  
也親ノ敵モチタル者ハ君ニ仕ヘス常ニ刀劔ヲハナサス  
シテ持ツナリ讎ヲ殺サヌメ也此事礼記檀弓ノ篇  
ニ見タリ若シ又君ニツカフル間ニ親ノ讎出来スルアアラ  
ハ我ハ敵ヲモチタリ暇賜ヘト申シテ隙ヲ乞テ讎ヲ報  
ユヘシ問云遠キ先祖ノ讎ヲモ報フヘキヤ答云公羊傳

傳聞問金下之三  
一十四

傳聞問金下之三  
一十四



三九代先ノ讎ヲ報ヒタルコトアリ紀國ノ君讒ヲ構テ  
齊ノ哀公ヲ訟フ周ノ天子怒テ哀公ヲ捕ヘテコレヲ  
烹殺ス哀公九代ノ孫襄公此事ヲ怨テ九代後ノ紀  
國ノ君ヲ滅セリ先祖ヲ忘レサルハ子孫ノ孝也トテコレ  
ヲ美タリ然レトモ甚ク過テ批判スル人モ有リケルヤ  
又漢ノ世ニ法度キヒレクニテ下トシテ互ニ人ヲ殺ス者  
ヲハ是非ヲ論セス大罪ニ行フコトアリコノ時イカナル孝  
行ノ子モ父ノ讎ニ遇テ報ルコトタハス是ハ法度ノ餘リ  
過タルコトナレヨレトセスト沙汰アリ過不及ナク義理  
ノ宜キヤウニ法ヲ立ヘキコトナリ  
問云兄弟ノ讎ヲハイカスヘキヤ答云礼記ニ兄弟ノ

讎ニハ不返兵ト云ヘリ不返兵トハ平生人ヲ殺ス道具ヲ  
身ニ隨ヘテ何時ニヨラスカタキヲ討シト云意也問云君  
ニツカヘテ兄弟ノ讎ニアハ如何スヘキヤ答云父ノ讎アル  
トキハ君ニツカヘス兄弟ノ讎アリトキハ君ニツカフ或  
ハ君ノ命ヲウケテ使者トナリ路次ニテ兄弟ノ讎  
行アハ闔ヘカラス闔ヘハ君命ニ背ク闔ハサレハ兄弟ノ  
敵ヲ逃カスサレトモ君ノ使者トナリテ大事ヲ抱タリ  
生テ其返事ヲ申スハ重クシテ讎ト闔テ死スルハ輕  
白樂天カ將滅私而奉公宜棄小而取大トイヘルハ此ヲ  
批判セリ君ノ使者タルトキハタトヒ讎ヲ討ストモ苦  
カラス



問云敵ト對陣セシキニ君ノ命ヲ受テ城門ノ守ル者アリ其父夜外ヨリ来ラハ門ヲアケテ入ルシヤ如何答云門番ハ大事ノモノ也夕ヤスク夜開クハカラス宋祖皇帝イマタ天下ヲ取ラサル前ニ唐ノ兵ト滁刈ニ戰テウチ克ツ夜ニ及テ大祖ノ父其名ヲ趙弘殷ト申ス人外ヨリ来テ城門ヲ扣ク大祖此ノ城門ハ私ニ守ニアラス君ノ命ヲ奉テ守レリ我カ父ナリトイフトモ入ヘカラスト云フ夜明テ趙弘殷入ルヲ得タリ此ノ例ヲ以テ觀レハ城ノ番ハ少モ懈ヘカラス問云父ヲ入サルハ餘リニ難カラスヤ答云後漢鄧暉ト云人城門ノ番タリ或時時ノ天子光武御遊ニ出テ、夜ニ入テ

飯ル前駟走リ来テコシアラナイヨト云フ鄧暉開カス又来テ天子入御シ玉フイソキアケヨト云フイヨク開カス使者頻ニ門外ヨリヨハフ鄧暉槽ノ上ニホリ窓ヲ開キ火ノ光カスナリ天子ノ御形ヲ見シラストテ遂ニ開カス光武夕カヘリテ別ノ門ヨリ飯入タラ明朝勅メ鄧暉ヨク門ヲ守レリ恩賞ヲ与フヘシトテ官位ヲスメラル鄧暉昨夜ノ罪ヲ請ヒケレトモ光武却テホメラル太平ノ時ニ君ヲサヘ夕ヤスク夜ハ入レス況ヤ軍陣ノ時城門ヲ開テ父ヲイレヤ是ハ番ノスル者ノ大法也然トモ又時ニヨルヘレ



名也子南カ子ヲ弃疾ト云父子共ニ康王ニツカフ令尹  
甚後リ人人コレヲ憂フ王ノ心ニモ令尹ヲ罪セント  
オモヘリアル時康王車ニ乗テ出ツ弃疾供奉ス  
王弃疾ヲ見テ泣ク弃疾怪テ君今臣ヲ見テ泣ク  
流ス何故ソヤ王ノ曰ク子南カ悪キハ你カ知ル所ノ  
コトシ子南ヲ誅セント思フ你此國ニ居ラシカ弃疾對  
テ曰ク父殺サレテ子居ラシト君何ソ用シヤ此旨ヲ  
父ニ洩シ告ケハ我カ罪又重シト云テ令尹ニ語ラス其  
後王遂ニ令尹ヲ殺ス三日アリテ弃疾其尸ヲ收メテ  
葬ル弃疾カ臣申ケルハ弃疾國ヲ去テ他國へ行シカ  
弃疾對テ曰ク父ヲ殺ス<sub>ト</sub>ヲ我兼テ知レリ是ヲ父ニ

語ラスメ殺ストキハ我モ父ヲ殺ス談合人也何クニ行  
トモ誰カ我ヲ用シヤ其臣又問テ曰ク然ラハ君ニツカヘ  
カ弃疾又對ケルハ王今我カ父ヲ殺ストキハタトヒ  
君ナリトイヘトモ我カ讎也讎ニツカユルハ堪忍シカ  
タシト云テ弃疾自ラ頸ク、リテ死ス誠ニ哀ナル事也  
此事イカ侍ラシ答云君ノ云<sub>ト</sub>ヲ洩シアラハセハ君ニ背  
ク罪重シアラハサスメ果メ父ヲ殺セリ若シ又父此事  
ヲ兼テ知ラハ兵ヲ起メ楚國乱レ君危カルヘシ父ヲタ  
スケントスハ君命ニタカフ君ニシタカヘハ父ヲ失フ此ノ  
二ノ者一大事ノ難儀也弃疾止ム<sub>ト</sub>ヲ得スメ父ヲモ失  
ヒ又自ラ其身ヲ失フ此事左傳襄公二十二年ニ見



タリ杜預カ註ノモロニ康王ノ父ヲ殺ス一ヲ其  
子ニ談合スルハ君臣ノ義ニアラス談合スニレキ一ヲ  
談合ス道理ヲ失ヘリト譏レリ問云呂東萊カ論ニ  
孝アル者ハ必忠アリ不孝ナラハ君ニモツカヘカタレ  
故ニ忠ト孝ト兩ツナカラ全キヲヨレトス一ヲモ缺ヘカ  
ラス弃疾カ事一人ハ君一人ハ父一人ヲヨレトスレハ忠  
アレトモ孝アラス或ハ孝アレトモ忠アラス此論ハ君子  
ノ云ヘキ所アラスト云ヘリ如何答云大明ノ邵室此  
事ヲ論メ云コ、ロハ王ノ令尹子南ヲ誅セントスルハ其  
後ヲ惡ム故也後ラスシハ罪セラルヘカラス弃疾カ身ト  
レテ王ヲハ諫ムヘカラス父ヲハ諫ムヘレ弃疾父ニ向テ諫

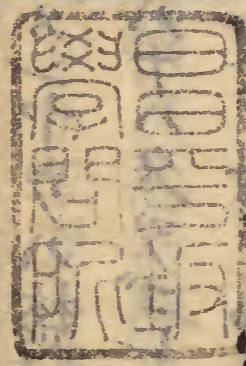
メンヤウハ楚國ノ大臣トメ官位高ク俸祿重シ其上  
ハナハタヲゴレリ人々憂ル故ニ王モ惡ム玉フヘレ早ク官  
位ヲ去リ身退テ約カニスルカ然ラスハ國ヲ去テ他  
國へ行ケト云ヘレ令尹此ノ諫メヲ聞カハ楚王何ソ誅  
セシヤ若レ此諫ニ從スレハ弃疾カ後ニ死ナレ命ヲ父ノ  
存生ノ日目ノ前ニテ死ナハ子南モ争テカ心ヲ改メ  
サラレ弃疾此義ヲセスメ空ク父ヲ殺サレ其身モ死ヌ  
ルハ不便ナル事也問云弃疾カコトキ者又別ニ其類ア  
リヤ答云唐德宗ノ時李懷光カ子李瓘カ事コレト  
相似タリ李瓘カ事ハ前ニ申し侍リキ古今ノ間弃  
疾李瓘二人ノ外ハ多ク見ヘ侍ラス



其年... 李... 宗... 長... 刊... 行...  
其年... 李... 宗... 長... 刊... 行...  
其年... 李... 宗... 長... 刊... 行...  
其年... 李... 宗... 長... 刊... 行...  
其年... 李... 宗... 長... 刊... 行...  
其年... 李... 宗... 長... 刊... 行...  
其年... 李... 宗... 長... 刊... 行...  
其年... 李... 宗... 長... 刊... 行...  
其年... 李... 宗... 長... 刊... 行...  
其年... 李... 宗... 長... 刊... 行...

寬文二寅年 初復吉且

文化十丑



荒川宗長刊行



